

岩崎城だより

No.71
2026.1.5



「紫春」 いそはた みか

館長のおはなし

日進市出身の戦国武将と言えば岩崎城の丹羽一族ですが、実は丹羽家以上に活躍した岩崎村出身とされる戦国武将がいるのをご存じでしょうか。

その戦国武将は河尻秀隆。18世紀半ばに尾張藩によつて編纂された地誌『張州府志』に愛知郡の人物として「川尻肥後守」が記載され、そこには「岩崎村の人、織田信長に仕え、後に甲斐国司となるも民の害に遭う」とあり、『尾張名所図会』にも「川尻肥後守宅址」として江戸時代末段階で場所が不明なものにも関わらず、屋敷が岩崎村にあつたように記され、江戸時代半ば以降には河尻秀隆は岩崎村出身であると考えられていたようです。

しかし、大正時代の日進市域の『愛知縣愛知郡日進村苗字一覽』、『日進町誌資料編6、11ページ』に河尻姓は見られず、岩崎城の家臣一覽(『長久手合戦記』による)にも河尻姓はいないため、岩崎村に古くから河尻一族がいたとは思えず、何を根拠に河尻秀隆が岩崎村出身となつているのかはわかりません。

若い頃から織田信秀、信長に仕え、様々な戦に参戦。信長の息子信忠が元服したのちは家老役として支え、武田攻めで多くの功績をあげ、武田家滅亡後は甲斐国を治めることになります。しかし、そのわずか2か月後、京で本能寺の変が起こり、織田家中の混乱に乘じ、旧武田領で一機が勃発。河尻秀隆は武田遺臣の三井弥一郎に討ち取られ、その生涯を終えます。丹羽氏次も織田信忠に従っていたため、戦場をともしたこともあつたかもしれませんが。もし河尻秀隆が岩崎村出身であつたなら氏次とは同郷。甲斐国、信濃国で地元岩崎の話になつたかもしれませんね。

イベント情報

特別展

「戦国武将 丹羽氏次」

1月25日(日)まで

伊保1万石の大名に出世した4代岩崎城主・丹羽氏次。各地に眠る氏次ゆかりの名品からその生涯に迫ります。



「二の丸清掃」参加者募集

日時:2月14日(土)
10:00~15:30(雨天中止)
参加費:500円
募集:1月11日(日)9時~
予約サイトから

毎年恒例!第5回岩崎城清掃!二の丸に溜まった落ち葉の除去や草木の剪定などを行います!綺麗になった土塁を攻めのぼろう!体験を予定しています。



岩崎城刀劇隊による 剣術道場

2月22日(日)
3月22日(日)
11:00~/14:00~
場所:岩崎城址公園
定員:無料・どなたでも

刀の基本的な扱い方、殺陣を岩崎城刀劇隊が指南いたします。本格的な剣術を岩崎城で学んで体験してみませんか?



子ども劇 「僕らの町の岩崎城」

出演者大募集



演劇で学ぼう!プロの俳優と一緒に岩崎城の歴史を学びながら、史実と子どもたちが大好きな想像の世界を織り交ぜたお芝居を作り、4月5日(日)に開催する**岩崎城春まつり**で発表します!

対象は小学生(令和7年度)、参加費は無料です。練習日は3/20、4/2、4/3、4/4(9:30~12:30)。本番4/5(9:30~15:00)。全日ご参加ください。講師は「演劇ワークショップトリソレイユ」。申込は3/3(火)9:00~岩崎城へお電話ください。

「岩崎城だより」

発行日 2026年1月6日(年4回発行)

編集・発行 岩崎城歴史記念館

〒470-0131

日進市岩崎町市場67番地

Tel 0561-73-8825

Fax 0561-74-0046

<http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakijo>

◆開館時間

9:00~17:00

◆休館日

月曜日

(祝日の場合は開館)

12月28日~1月4日



特別展

「にっしんのおひなさま」

岩崎城歴史記念館と旧市川家住宅で毎年恒例の特別展を開催します。桃の節句にあわせて、子どもの無事な成長や幸せへの願いが託された、明治から令和の人形を展示します。豪華絢爛なお雛様を、ぜひご覧ください。

■岩崎城歴史記念館 2月7日(土)～3月15日(日)
■旧市川家住宅 1月31日(土)～3月8日(日)

愛知県内の博物館・資料館をめぐるひなまつりスタンプシールラリー。岩崎城と旧市川家住宅にもスタンプを設置しています！展示と合わせてお楽しみください！

にっしんのおひなさま

岩崎城歴史記念館 2026 2/7(土)～3/15(日)
旧市川家住宅 2026 1/31(土)～3/8(日)

開館時間: 9:00～17:00
休館日: 2026年2月14日(土) 3月16日(月)
入場料: 無料
お問い合わせ: 0564-23-1111

岩崎城までどうやって来ましたか？ 教えてください！アンケート



アンケート実施方法
【実施目的】岩崎城へ来城する方はどの方法で来城するのかを知るため。【実施期間】2025年度夏企画展の期間中(8月9日(土)～9月28日(日))【回答方法】該当するところに●シールを貼る。【総回答数】999名(8月569名、9月430名)

	自家用車	公共交通機関
日進市内	137	26
愛知県内	665	27
愛知県外	118	26

【館長のひとこと】

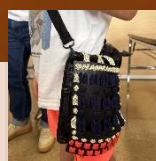
圧倒的に車で来られる方が多いなあ

たくさんのご回答、
誠にありがとうございました！！

岩崎城 秋の物づくり教室 開催報告

甲冑バッグ作り教室

10月19日(日)に甲冑バッグ作り教室を開催しました。鎧独特の威し方「菱縫い」を学び、それぞれ選んだメインの色をひとつずつ威して、甲冑の草摺り風バッグを完成させました。



平安貴族の優雅な遊び 「貝合わせ」を作ってみよう

11月2日(日)に開催された貝合わせ作り。伝統文化としての「貝合わせ」を学びながら、手軽に扱える絵の具を使って一対の蛤に絵付けをし、自分オリジナルの作品を作りました。

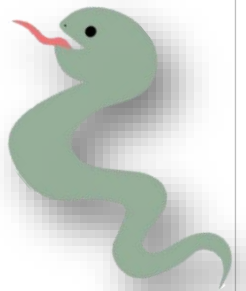


法螺貝作り教室

11月15日、22日、29日(土)の3日間かけて、それぞれの貝の大きさに合わせて法螺貝に仕上げました。制作の合間には法螺貝の吹き方も練習！岩崎城には合戦の合図かのような法螺貝の音色が響きました。

岩崎の民話

大蛇がすんだ



芦廻間・門木のあたりは、今は住宅地として開発されているが、昔は人家のないものさびしい林と、はざまにある水田だけだった。村人は、山仕事や水田の耕作のためにこのあたりに入って仕事をしていた。

ある初夏のころである。芦廻間の水田で田打ちをしていた農夫があった。一仕事の後、いっぶくしていると、あたりの雑木林の方で、ざわざわ草や笹をかき分けて何かがくるけはいがした。それはまことに異様な音に聞こえる。音の方をふりむくと、何か大きなものがそろそろと動いている、四つ足の動物ではなさそうだ。気味わるさと恐ろしさのなかばする気持ちで、そつとたしかめると、音の主は、一升びんほどもある胴をみせて、こちらに向いて近づいてくる大きな蛇であった。

「うあー！」大声で叫びたいのをじっとおし殺して、その場を離れたが、やがて田んぼのわきの草原で気絶して倒れてしまった。その後通り合わせた人に助けられて帰宅したが、その人は長い間、床についてしまった。

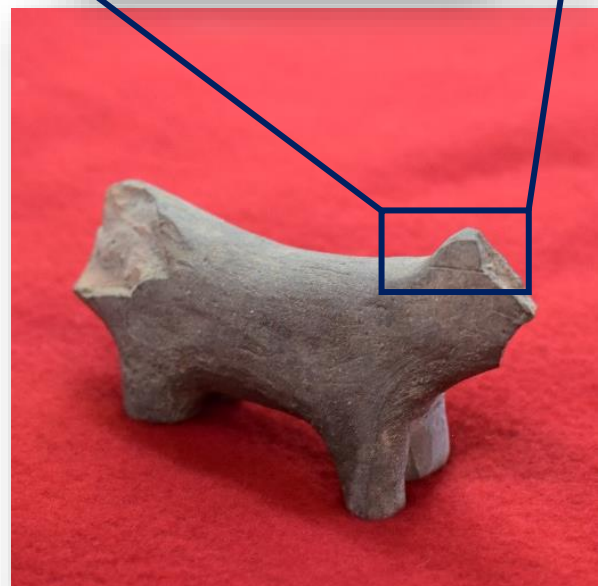
この大蛇らしいものを門木・高針地内でも見かけた人もあるということが伝えられている。

収藏品紹介

◆陶馬(折戸80号窯)◆

2026年の干支は**午年**

へラでたてがみを表現している!?



陶器で作られた馬の胴のみの遺物。日進市米野木に所在する折戸80号窯(8世紀頃)から出土しました。大きさは縦7cm、横12cm。表面はなめらかになるように調整し、手で練った痕跡を消して、丁寧に作り上げています。首に近い部分には馬の「たてがみ」の表現と考えられるへら描きがあります。馬と人の歴史は古く、今から約1600年前の古墳時代に日本へ渡来したといわれています。そのころから日本人は様々な場面で馬と親しみながら生業とともにしてきました。陶馬は当時の伝統的な宗教用具で雨乞いなどの祭祀に使われていたと考えられています。



私は岩崎25号窯から来た陶馬。記念館常設展示にいるよ!